

三水小学校が開校しました

<みんなで創り上げる学校に>

この度、三水小学校の校長として勤めることになりました山田敏彦です。縁あって、三水小学校にお世話になることになりました。私は飯綱町で生まれ、自然豊かな中で育ちました。生まれ育った地元の学校に勤務できることを大変うれしく思います。どうぞよろしくお願いいたします。

4月5日には、1学期始業式、そして入学式が行われました。2年生から6年生まで無事進級し、三水小学校第一期入学児童31名が入学いたしました。三水小学校は全校児童186名、教職員33名でスタートです。

三水小学校の学校教育目標は、「笑顔かがやくいづなっ子」です。本校はこの目標のもと、「明日が楽しみになる学校をつくろう」を重点に子どもたちを育ててまいります。すべてが真新しい環境の中で、子どもたちが頑張ったことひとつひとつが、三水小学校の歴史や伝統になっていきます。真っ白なキャンバスに絵を描くように、子どもたち、教職員、保護者の皆様、地域の皆様、みんなで力を合わせて、三水小学校という『絵画』を完成することができるように、「明日が楽しみになる学校づくり」に全力で取り組みたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



そして、入学された1年生の皆さん、保護者の皆様、ご入学おめでとうございます。

<開校記念式典>

4月11日には、牟礼小、三水小の両校で開校記念式典が行われました。オープニングには田楽座による和太鼓の迫力ある演奏、獅子舞があり、子どもたちは大喜びでした。続いて代表児童4名による誓いの言葉の発表がありました。

「自分で考え自分で行動できる知恵と自主性を身につけていきます」

「三水小学校と牟礼小学校は同じ目標をもついづなっ子として勉強に励みます」

「自分自身と友だちや仲間を大切にし、共に成長していきます」

「ふるさとの伝統や文化を学び、明日を切り開く視野を広げていきます」

「ふたつの小学校は、同じ校章と校歌でつながっています」

「ふるさと飯綱の大地で、笑顔かがやくいづなっ子となることを誓います」

これらは、学校教育目標を具体的で分かりやすい言葉にした発表でした。この式典を通して、新しい学校の開校には、実に多くの方々関わってくださっていることが改めて分かりました。皆様のご期待に応えられるよう子どもたちと共に精一杯取り組んでいきたいと思ひます。



<大人がかなわない子どもの発想>

4月12日朝、昇降口前で飯縄山を眺めたり、校舎西側にある桜の花が咲き始めているのを見たりして、ある児童と次のような話をしました。

山田「桜が咲き始めたね。でもあそこ、校舎に近いところだけ咲いてるよ。不思議だなあ」

児童「校舎が好きなんじゃない？1年生もあそこ通るし…」

山田「へえ～、なるほど」

驚きました。こういう発想は大人同士の会話からはまず出てきません。子どもたちは別の視点で物事を見ているのだろうと思います。「これは子どもには無理だよ」「子どもには難しいだろうな」など、こちらで限界を決めてしまうことがあります。こうして話をしていると、子どもの考え、意欲、発想は、大人の思考を上回っているように思ひます。改めて子どもたちの成長が楽しみになってきました。